

ぱちんこ節電行動計画書に関するQ & A

このQ&Aをご覧になる方に、再度、節電行動計画の目的についてお知らせいたします。

この節電は、夏場のピーク電力カットと共に、震災後の電力不足に対するパチンコ業界に対してのバッシングに対する一つの回答でもあります。全てのホールが一致結束して日本国のために最大限の努力を伴った行動を共にすることにより社会との共生が進むことだと考えております。

基本アクション6項目について、少しでも実行して頂きたいのは、削減に関して最も効率が良い項目というだけではなく、社会に対して公約として投げかけた項目であるからこそ、全てのホールでチャレンジしてほしいと思うからです。今夏の節電対応について、国民は大きな興味と関心を持って我が業界を見ております。一人でも多くの方に来店いただくため、売上をあげるための電気利用ではなく、最低限の安心・安全のための電気利用にとどめ、削減した電力を医療や公共交通等に使っていただくというのが“ぱちんこ節電宣言”の主旨です。この趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

問1：6つの基本アクションは全て守らないといけないのでしょうか？

答：基本アクション6項目については、ホール5団体合意の節電内容に含まれております。内容については、各団体ホームページのホール5団体合意文書をご確認ください。なお、基本アクション6項目に関しては基本的に全項目を実施していただきます。全ての店舗が同じアクションを起こすことが、ぱちんこをしない方にも、業界の節電行動を分かり易く見せる方法と考えます。もちろん全てを実施したことで目標達成ができるとは限りません。店舗の環境によって、基本アクション6項目だけでは目標数値に至らない場合には、さらなる節電対策を施し輪番休業も含み25%以上の節電をしていただけるようお願いいたします。

問2：6つの基本アクションについて達成可能な部分まででよいなら、数値と効果%記入部分を空白にした表を下さい

答：節電行動計画書のポスターは、電力削減効果が分からないホール様向けに実行アクションをチェックして作成できるようにしております。デマンド監視装置などで削減電力がある程度わかるホール様は数値部分を加工してご利用ください。また、趣旨を組んだ様式であれば自店用に加工してご利用いただくことも問題ありません。しかし、基本アクション6項目については実施していただくようお願いいたします。

問3：外壁照明の終日消灯ですが配電盤の関係で消灯すると建物が見えなくなり交通事故等の可能性があります。消灯に関しての目的、主旨を教えてください、その中から大まかな基準や考え方を教えてください。

問4：ネオン、看板、電光掲示板等の照明の消灯とありますが、当方は看板を消すと店がどこにあるか常連以外は分からない状態になってしまいます。看板付けてもいいですか？

答：基本アクション6項目に関しては、節電効果だけでなく、ぱちんこをしない方々の心情も意識をした節電行動となっております。防犯上の問題に関しては地域組合や所属団体と相談の上、対応を検討してください。基本アクション6項目については、全ての項目で実施していただくようお願いいたします。

問5：ガラス張りのホールです。日中は日が射して温室状態になるからエアコンは譲れません。LED導入など、他で13%以上削減したいのですが、だめですか？

答：基本アクション6項目については、ホール5団体合意の節電内容に含まれております。内容については、各団体ホームページのホール5団体合意文書をご確認ください。エアコンの温度に関しては、昨年夏設定時の2度アップをお願いしております。上記LED導入で13%は節電効果も高く非常に良い取り組みだと考えられますが、基本アクション6項目については、実施をお願いいたします。基本アクションは、昨年対比での削減で電気使用量が大きい照明、空調において削減することを前提とし、ぱちんこファンだけでなく、ぱちんこをしない方にも簡単明瞭に節電努力を感じていただけるように考えております。見ただ目で節電をしていることがわからなければ、業界バッシングに繋がると考えられます。店舗では、来店されるお客様にもご不便をおかけし、営業面でも大変なことではありますが、今夏の電力不足を皆で乗り切るようにがんばりましょう。

問6：ホール内の照明は3段階に分電しており、3分の2を消すと暗くなりすぎてしまいます。他の項目で節電し、自助努力も加えて13%以上達成するので、ホール内の照明は3分の1の間引きでも大丈夫でしょうか？

答：基本アクション6項目については実施してください。照明はランプ（電球）を外していただければ対応できると思われます。

問7：昨年までで当店は27度の調整でファンも暑いと言いながら遊んで頂いておりました。昨年の基準温度から2度アップにすると遊技できる状況にはありません。他の項目で努力しますので1度上昇に変更して実行してもよろしいでしょうか。またこのときには2.5%の節電効果と考えてよろしいでしょうか？

答：かねてよりエコホール宣言にある節電のご協力をいただき誠にありがとうございます。今回の節電は昨年7－9月の使用最大電力対比での削減を求められているものです。基本アクション6項目については実施してください。お客様や従業員の健康のことを考えると1度下げの28度が限界だと考えます。その分、その他の項目で25%削減を達成してください。

問8：当社では以前より節電に取り組んでいるので、6つの基本アクションを完全に実施しても節電効果は9%程度にしかありません。この場合は当店の節電効果ではなく、行動計画に書いてある13%と考えても大丈夫でしょうか？

答：今回の節電は昨年7－9月の使用最大電力対比によるものです。基本アクション6項目を実施しても削減できない場合は他の節電対策をおこなっていたき、昨年比13%削減となるように努力をお願いいたします。

問9：パチスロ専門店です。店内は間接照明がほとんど占めているため、消灯をすると真っ暗になってしまいます。どうしたらいいのですか？

答：ホールの明るさの3分の2以上が間接照明で構成されているとすれば、その照明をメイン照明と考えても良いと思います。（但し、風営法で規定されている営業所内の照度は10ルクス以上になるようにお願いいたします）それを含めて基本アクション6項目にさせていただき、削減できない場合はさらなる削減方法を検討し25%削減に努めてください。

※その他、削減数値を決定する際の割合（％）については別紙をご参照ください。質問については“所属団体の事務局”までお問い合わせください。

別紙

■節電行動計画の削減効果試算(参考値)

【想定条件】	
店舗規模	350台前後
契約電力	208kW
〔設備割合〕	
遊技設備	28.0%
照明コンセント設備	42.0% ※ホール内照明22%、店外照明10%、事務所等10%
空調設備	30.0%

項目①	参考削減率	備考
外壁照明の終日消灯	1.0%	外壁照明(270W)が8台あると仮定すると $270W \times 8台 = 2,160W$ $2.16kW \div 208kW = 0.0103$
ネオン、看板、電光掲示板等照明の消灯	1.5%	ネオン灯(200W)が6台、看板灯(2,000W)が1台あると仮定すると $200W \times 6台 = 1,200W$ $2,000W \times 1台 = 2,000W$ 合計3,200W $3.2kW \div 208kW = 0.015$
ホール内の間接照明を点けない	1.0%	間接照明(150W)が14台あると仮定すると $150W \times 14台 = 2,100W$ $2.1kW \div 208kW = 0.01009$
自販機の照明を24時間消灯	0.3%	自動販売機内にある蛍光灯を4本と仮定し、1店舗あたりの自動販売機を5台と仮定すると $32W \times 4本 \times 5台 = 640W$ $0.64kW \div 208kW = 0.003$
ホール内の照明50%以上を間引き	4.2%	ホール内照明(ベース照明360W)48台のうち半分を間引き消灯したと仮定すると $360W \times 48台 = 17,280W \Rightarrow 50\% \Rightarrow 8,640W$ $8.64kW \div 208kW = 0.0415$
エアコンの設定温度を2℃上げる	5.0%	某設備業者資料により

項目③	参考削減率	備考
LEDの導入	9.9%	水銀灯⇒LEDに変更の場合の照明効率(lm/W)が45%効率UP⇒45%の節電。 ホール内照明22%全てが45%効率UPしたと仮定すると、 $0.22 \times 0.45 = 0.099$
エレベーター間引き	1.9%	某施設で測定した、エレベータを使用した場合の平均電力値は、4000[W]であり、これを採用して試算すると、 $4 \div 208 = 0.0192$
エスカレーター24時間停止	0.9%	3.7kW相当のエスカレーター(負荷率50%)を停止したと仮定すると、 $3.7kW \times 50\% = 1.85kW$ $1.85 \div 208 = 0.0089$
遮熱塗料	6.0%	某ホールにおける遮熱塗装を施した際のピーク時の低減実証値は約6% ⇒建物一括データによる検証結果
断熱材	3.6%	外断熱(壁・屋上)改修を施した場合の空調省エネ効果は、12%(某建築業者資料より) $0.3 \times 0.12 = 0.036$
フィルム	3.4%	某建築業者遮熱フィルム資料より、空調エネルギー低減により70W/㎡とあり、これを採用して対象窓面積を100㎡として試算すると、 $70W/㎡ \times 100㎡ = 7000W \Rightarrow 7 \div 208 = 0.034$
※遮熱塗料・断熱材・フィルムを全て導入した場合	11.3%	遮熱塗料(空調エネルギー20%削減)、断熱材(空調エネルギー12%削減)、フィルム(空調エネルギー11.3%削減)全て実施した場合の削減率を上記のように仮定すると「 $80\% \times 88\% \times 88.7\% = 62.4\%$ (37.6%の空調エネルギー削減) $0.3 \times 0.376 = 0.1128$
空調の清掃	6.0%	某空調清掃業者による削減率20%(分解洗浄の場合)、 $0.3 \times 0.2 = 0.06$
壁面や屋上の緑化	3.0%	某建築業者資料より、折半屋根メッシュパネルスタイル(緑化)による効果は、空調エネルギー10%低減((財)建材試験センターデータより)を採用して試算すると、 $0.3 \times 0.1 = 0.03$
よしずの導入	3.0%	よしずを室外機に利用して、日向⇒日陰にすることで、空調エネルギーを約10%低減(推定)できると仮定すると、 $0.3 \times 0.1 = 0.03$
自販機の冷却時間短縮	1.2%	自動販売機の圧縮機の容量を約500Wと仮定し、1店舗あたりの自動販売機と5台と推定すると、ピーク時の冷却を全て止めた場合、 $500W \times 5台 = 2500W$ の低減。 $\Rightarrow 2.5 \div 208 = 0.012$

項目④	参考削減率	備考
使用していないエリアの消灯を徹底	2.0%	対象を事務所等で、20%省エネ出来たと仮定(推定)すると、 $0.2 \times 0.1 = 0.02$
送風機、扇風機の設置(攪拌目的)	9.0%	某メーカー攪拌装置の場合、最大で冷暖房負荷が30%低減とあるので、 $0.3 \times 0.3 = 0.09$
送風機、扇風機の設置(冷房⇒送風)	7.2%	個別空調(ビルマル等)の場合、冷房⇒送風に切り替えることで、約80%程度の省エネ効果有。 仮に30%の空調を冷房⇒送風に切り替えたとすると、 $0.3 \times 0.3 \times 0.8 = 0.072$
電源はコンセントから抜く(待機電力)	0.5%	ホールの深夜待機電力対策により、年間5,475kWh/年の削減。 $5475 \div 365 = 15kWh/日 \Rightarrow$ およそ1kW $1 \div 208 = 0.0048$ ※輪番定休店舗の屋間の待機電力を想定しているため、ピーク低減に寄与すると想定
「デマンド監視装置」の導入による具体的な節電行動の実践	10.0%	デマンド監視システムを導入し、警報音の設定に伴う空調や照明の節電行動をこまめに実施した場合のホールの電力削減実績は、平均約10%程度。
「クールビズの推進」により空調の設定温度をさらに1度上げる	3.0%	クールビズにより、空調の設定温度を1℃高く出来たと仮定すると、一般に1℃変更で空調エネルギー10%低減を採用して試算すると、 $0.3 \times 0.1 = 0.03$

※ホール5団体にピーク低減を前提に試算(使用量削減とは異なる)
 ※上記削減率は参考値であるため、ホールの建物形状や設備、営業条件等により数値が変動する場合がある
 ※上記複数の対策を実施したとしても単純に足し算出来ない場合がある